

丸毛盛岡中央青果株式会社 寄付金贈呈式



1月23日、丸毛盛岡中央青果株式会社（吉田雄一代表取締役社長）から岩手県社会福祉協議会に、「宝船」の売上金17万5千円が寄付されました。

同日ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、同社の照井勝也代表取締役専務から、「今年も盛岡市中央卸売市場の初売りで販売した宝船の売上金を寄付します。活動にお役立てください」と挨拶があり、本会の長山洋会長に目録が伝達されました。

長山会長は、「長年の継続的なご支援は大変ありがたい。本会では、数年前から農福連携という農家の皆さんと障がい者施設等の皆さんが一緒になって働く取組なども進めようとしている。これからもよろしくご支援いただきたい」と挨拶し、感謝状を贈呈しました。

同社による宝船売上金の寄付は、平成18年度から行われており、今回で14回目となります。

車椅子寄贈式

1月23日、ふれあいランド岩手におい



て、「小さな親切」運動岩手県本部（代表・株式会社岩手銀行田口幸雄代表取締役頭取）から、県内の市町村社会福祉協議会に車いす3台が寄贈されました。

寄贈式では、同本部の三浦茂樹副代表から、「できる親切はみんなでしよう、それが社会の習慣となるように」というスローガンの下、思いやりの心の芽を育てる運動を進めている。車いすを高齢者や体の不自由な方の積極的な社会参加など、福祉事業に有効に活用いただきたい」と挨拶があり、本会の長山洋会長に目録が贈呈されました。

長山会長は、「長年の支援は大変心強く感謝申し上げます。寄贈先の3つの社協は、それぞれ地域の皆さんと一緒に福社の向上に取り組んでいる。ぜひ有効に活用したい」とお礼を述べました。

同本部からの車椅子の寄贈は、平成11年から行われており、今回を含め102台の車椅子が、市町村社協の活動に役立てられています。

北日本医療福祉専門学校

寄付金贈呈式

1月29日、北日本医療福祉専門学校（奈良憲光校長）から岩手県社会福祉協議会に、20万円が寄付されました。

寄付金は、昨年10月19日・20日に行わ

れた同校学園祭のバザー・支援販売等の収益金を、台風19号災害等の復興支援に役立てたいと企画されたもので、29当日は、星希望さん（介護福祉科2年）、工藤汐莉さん（こどもマイスター養成科2年）、高橋麻那さん（薬学科2年）が代表でふれあいランド岩手を訪れました。

寄付金を受領した右京昌久事務局長は、「台風第19号災害では、全国で15万人、本県では7千人弱のボランティアが支援活動を行った。寄付

付いただいたお金は、土のう袋等の消耗品の購入やボランティアの運送など、災害時の支援活動に有効に使わせていただきました」と感謝しました。



寄付金は、令和元年台風第19号災害のほか、今後発生する災害での支援活動に役立てられます。

福祉車両贈呈式

24時間テレビ42「愛は地球を救う」

昨年8月に株式会社テレビ岩手（樺野信治代表取締役社長）など日本テレビ系列31社が取り組んだ「24時間テレビ42「愛は地球を救う」」に寄せられた募金等から、県内の社会福祉法人等10団体に、リフト付きバス、スロープ付き自動車等福祉車両が贈呈されました。

2月20日、ふれあいランド岩手で贈呈式が行われ、テレビ岩手の青山尚之専務

取締役事業局長は、「小さな子どもからお年寄りまで、一人ひとりの優しい気持ちが集まった募金。その方々の気持ちを大切にしながら、利用者の笑顔につながるようたくさん使っていたください」と挨拶し、代表者一人ひとりに目録を手渡しました。

受領者を代表して、一般社団法人岩手県自閉症協会生活介護施設ブルリの杜の熊本さんから、「車をもらって嬉しいです。ブルリの杜でフルーツキャップ作りの仕事を頑張ります」と感謝の言葉がありました。

同募金は、このほか、東日本大震災被災地及び昨年の台風第19号被災地の復興支援活動等にも役立てられています。



皆様のご支援 ありがとうございました

●東日本大震災被災者支援、地域福祉活動などのため

株式会社ブリッジ	40,000円（2月4日、3月4日）
名郷根 法育	3,000円（2月27日）
匿名	72,831円（2月17日）

●台風第19号災害のため

ものまねキャラバン	500,000円（1月29日）
北日本医療福祉専門学校	200,000円（1月29日）

ご寄付いただき感謝申し上げます。

親切会東北支部 家電製品贈呈式

2月21日、一般社団法人親切会東北支部（桜庭勤支部長）は、県内の障がい児施設7か所に、掃除機・エアコン等家電製品を寄贈しました。ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、桜庭支部長から、「親切会は利他の精神でよい世の中をつくりたいと願い活動しており、東北支部では、未来を担う子どもたちの支援に重点的に取り組んでいます。本日はささやかですが家電製品を贈呈させていただきます」と挨拶があり、代表者一人ひとりに目録が手渡されました。

動として、昭和34年に兵庫県尼崎市でボランティア団体として発足後、株式会社日立製作所及び日立グループ各社の積極的な取組により、全国組織へと広がりました。東北支部では、毎年東北6県の福祉施設を対象とした家電製品等の寄贈のほか、善行表彰等を継続して行っています。



協賛企業団体等の皆様へ

岩手県社会福祉協議会では、企業・団体等の皆様からの協賛をいただき、東日本大震災被災者への支援を始め、生活困窮者自立支援制度や新たな社会福祉制度の取組に積極的に関わり、豊かな福祉社会の実現に向けて、全力で活動を展開しています。

令和2年1月6日から2月28日までの間、次のとおり、皆様から協賛金を頂戴いたしました。

ご協力いただいた皆様には、深く感謝申し上げますとともに、今後一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

盛岡地区

（社）岩手県治山林道協会
小岩井農牧（株）
（株）遠忠

宮古地区

陸中建設（株）

釜石地区

ホテルシーガリアマリン

気仙地区

吉浜漁業協同組合

両磐地区

千厩ひかりクリニック

岩手中部地区

（株）北日本リゾート

新田東鋼管（株）

たかだ歯科クリニック

（医）花門堂

秋浜内科クリニック

（医）七藤会

もりおか胃腸科内科クリニック

がん治療を幅広く まとめて保障するがん保険

NEW

アフラックの
生きるためのがん保険
ALL-in



No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
（詳細はホームページをご確認ください）

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です（所定の支払事由に該当する必要があります）。

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

ナカイ株式会社

☎0120-523-261 FAX 019-652-3275

〒020-0025 盛岡市大沢川原3-8-40 パレスこずかた橋1F

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。
Aflac
盛岡支社
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1
マリオス13階
Tel.019-654-4722 Fax.019-652-2260

AFツール-2020-0086-2002005 2月6日

広報誌「パートナー」は、本会のホームページでもご覧になれます。
お問合せは岩手県社会福祉協議会・総務部まで ☎019-637-4466

岩手県社会福祉協議会ホームページアドレス
<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>